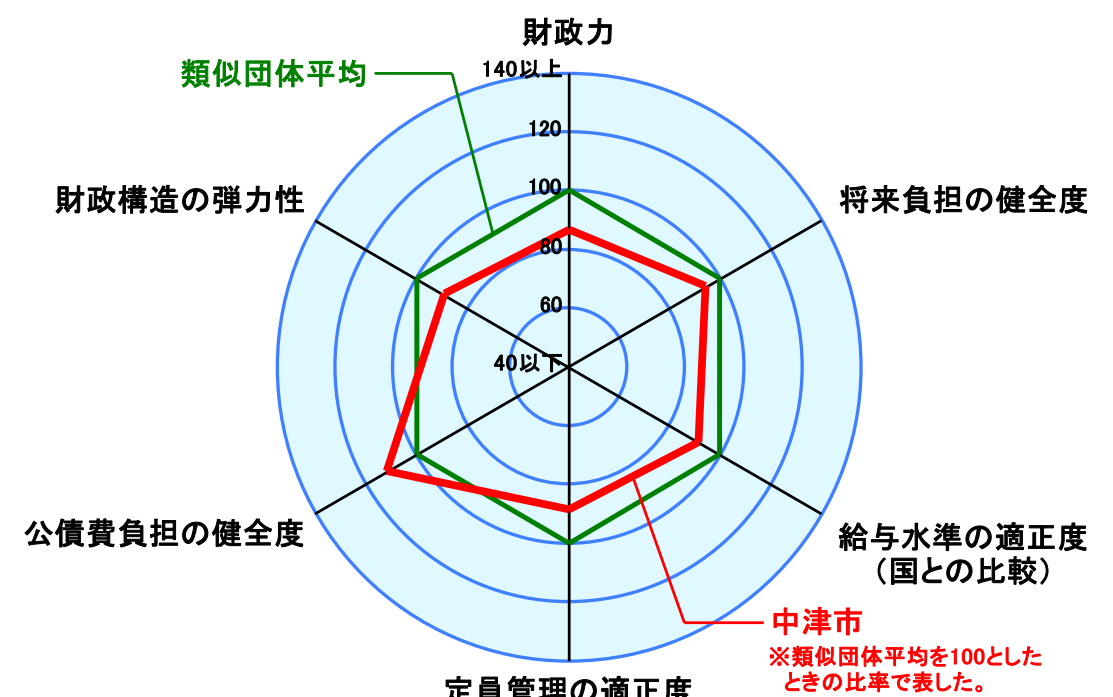
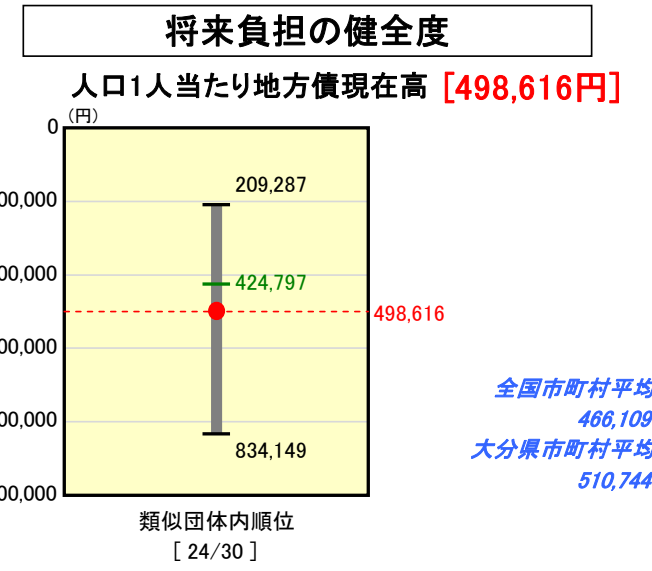
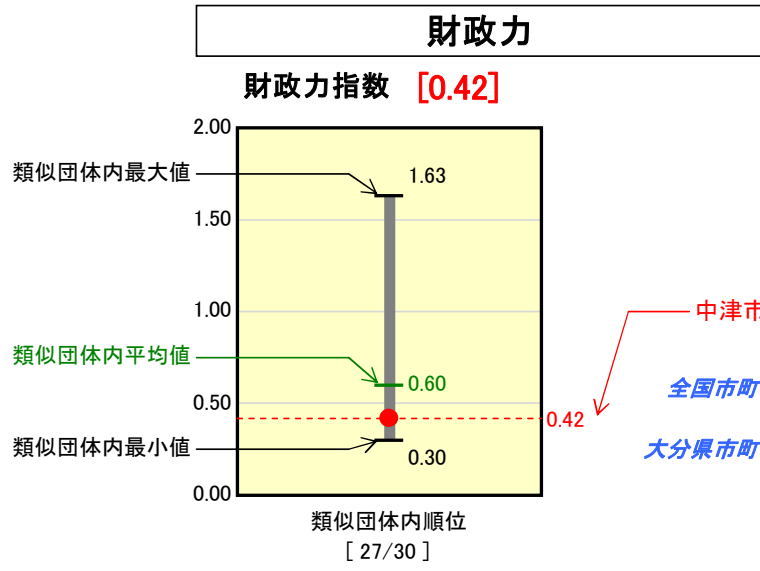


市町村財政比較分析表(平成16年度決算)

大分県 中津市

人口	85,856人(H17.3.31現在)
面積	491.08 km ²
歳入総額	43,624,020千円
歳出総額	42,270,676千円
実質収支	562,008千円



※類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を88のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。

分析欄

財政力指数：市町村合併により面積が約9倍に広がったことや、大型事業所が少なかったことにより類似団体平均を大幅に下回っているが、「ダイハツ車体」の進出に伴う税収の増加が今後見込めることや、行財政改革に伴う歳出の徹底的な見直し、税収の徴収率向上対策等により財政基盤の強化に努める。

経常収支比率：人件費及び公債費の増加等により類似団体平均を上回っている。人件費については、行財政改革による職員の給与カットの実施及び定員適正化計画に基づく職員数の削減を図り、公債費については、行財政改革に基づき市債発行額を抑制する等、経常経費の抑制に努める。

起債制限比率：今年度においては類似団体平均を下回っているが、現在事業実施中の「し尿・浄化槽汚泥処理施設」及び「国体関連施設」の建設に伴う償還金の上昇が発生するため、行財政改革に基づいた市債発行額の抑制に取組み、起債制限比率の急激な上昇を抑える。

人口1人当たり地方債現在高：国の景気対策と呼応し建設事業を推進してきたが、その財源を市債に多く依存してきたことにより類似団体を上回る地方債現在高となっている。今後も「し尿・浄化槽汚泥処理施設」及び「国体関連施設」の建設に伴う市債発行が予定されているため、行財政改革に基づき、他事業における市債の発行抑制を図り、財政の健全化に努める。

ラスパイレス指数：平成18年度から行財政改革により職員の給与カット（4%）を実施。各種手当の総点検も行い、より一層の給与の適正化に努める。

人口1000人当たり職員数：定員適正化計画に基づく、退職者の1/2補充や民間委託の推進等により、今後5年間で職員数を5%削減する。

